

令和7年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（日本史）【解答例】

受験校種	高・特	教科科目	日本史						得点	
------	-----	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

1 (4点×15)

【地理】

問1	液化化現象	問2	コンテンツ産業	問3	アボリジニ
----	-------	----	---------	----	-------

問4	OPEC (石油輸出国機構)	問5	ウ
----	-------------------	----	---

【日本史】

問6	壬申の乱	問7	イ	問8	エ
----	------	----	---	----	---

問9	新婦人協会	問10	警察予備隊
----	-------	-----	-------

【世界史】

問11	イ	問12	王権神授説	問13	イ
-----	---	-----	-------	-----	---

問14	ガンディー	問15	オ
-----	-------	-----	---

令和7年度 教科専門試験 高等学校（日本史）【解答例】

受験校種	高・特	教科科目	日本史						得点	
------	-----	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

2 (4点×5)

問1	エ	問2	ウ	問3	ア
----	---	----	---	----	---

問4	エ	問5	イ
----	---	----	---

令和7年度 教科専門試験 高等学校（日本史）【解答例】

受験校種	高	教科科目	日本史						得点	
------	---	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

3 (30点)

モンゴル襲来以降、異国警固番役が御家人の生活を圧迫したうえ、モンゴル襲来では没収地が無かったため、幕府は戦功をあげた御家人に十分な恩賞を与えることができなかった。また、分割相続の繰り返しのよって所領が細分化されたうえ、売買や質入れによって所領を失う御家人も少なくなかった。

幕府は、1297年に永仁の徳政令を發布して、御家人の所領の質入れや売買を禁止し、それまでに質入れ・売却した御家人領を無償で取り戻させ、御家人が関係する金銭の訴訟を受け付けないこととした。

中小の御家人の多くが没落していく一方で、経済情勢が転換する機会をうまくつかんで勢力を拡大する武士も生まれた。畿内やその周辺では、地頭や非御家人の新興武士たちが武力に訴えて年貢の納入を拒否するなど、荘園領主に抵抗するようになった。このような反体制的・反社会的な動きをみせる者は悪党と呼ばれ、その動きは各地に広がっていった。

結果として、北条氏の専制に対する不満が高まり、幕府の支配は動揺するようになった。

令和7年度 教科専門試験 高等学校（日本史）【解答例】

受験校種	高	教科科目	日本史						得点	
------	---	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

4 (30点)

徳川吉宗の享保の改革から始まった幕政改革では、悪化した財政の再建が進められ、吉宗は儉約令を進める一方、上げ米や定免法、新田開発などを実施して年貢収入を増やすことを目指した。吉宗のあとには、老中の田沼意次が株仲間を広く公認して、運上・冥加など営業税による増収を行ったり、商人の力を借りて印旛沼・手賀沼の干拓工事を始めて新田の開発を積極的に行うなど、年貢収入に頼らず民間の経済活動を活発化させ、そこからの富の一部を財源化しようと試みた。その後、天明の飢饉により意次が退くと、かわって老中となった松平定信が、囲米や七分積金で、飢饉・災害時の救済対策を講じたほか、旧里帰農令で正業をもたない者に資金を与えて江戸から農村に帰ることを奨励し、荒廃した村々を復興させようとした。将軍を辞してなお実権を握り続けた家斉の大御所政治のころには、天保の飢饉や大塩の乱、列強接近による鎖国の動揺といった内憂外患に悩まされた。この内憂外患に対応するため、老中水野忠邦は幕府権力の強化をねらい、飢饉で荒廃した農村の再建をはかり人返しの法を出し、物価騰貴の原因を株仲間の商品流通の独占と判断して、その解散を命じるなど天保の改革を推進した。

令和7年度 教科専門試験 高等学校（日本史）【解答例】

受験校種	高	教科科目	日本史						得点	
------	---	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

5 (10点×4)

(1)

入唐して密教を学んだ空海は、帰国後、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を開いた。とくに加持祈禱による現世利益の面から、皇族・貴族の支持を集め、嵯峨天皇から京に教王護国寺(東寺)を与えられた。空海は文筆においても、私撰漢詩集『性霊集』や三筆の一人として名を残した。

(2)

後鳥羽上皇は、鎌倉幕府3代将軍源実朝の死を機に、北条義時追討の兵を挙げた。対する鎌倉幕府は北条政子の演説で団結し、上皇の軍勢と幕府軍の戦いは幕府軍の圧倒的な勝利に終わった。この乱は、幕府の政治的な優位や執権政治の確立、西日本への幕府勢力伸長の画期となった。

(3)

幕府の御用を勤めた両替商。江戸時代の貨幣流通は三都や各城下町の両替商により促進され、両替商は、金・銀・銭の三貨間の両替や秤量をおこなった。大坂や江戸の本両替など有力な両替商は、公金の出納や為替・貸付などの業務をおこなった。

(4)

第1次近衛文麿内閣は日中戦争の打開策として1938年にこの法を制定して、政府が議会の承認なしに戦争遂行に必要な物資や労働力を動員できる権限を得た。国民生活は全面的に政府の統制下となり、この法が国民徴用令、価格等統制令など戦時体制を極端に強める根拠となっていった。

令和7年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（日本史）【解答例】

受験校種	高・特	教科科目	日本史						得点	
------	-----	------	-----	--	--	--	--	--	----	--

6 (20点)

【単元（題材）の主題】

恐慌の多発により、日本と世界の関係はどのように変わっていったのか。

【授業の展開例】

○ 本時のねらい

- (1) 多発した恐慌の推移と、日本政府がその恐慌にどのように対応したのか理解する。
- (2) 1920年代における国際関係の基調路線と、日本と中国の関係の変化について照らし合わせ考察する。

○ 指導上の留意点

- (1) 指導の内容は基本的な事項・事柄を中心とし、細かな点や高度なことには深入りしない。
- (2) 視覚教材や資料を積極的に活用し、社会状況の変化をとらえさせる。
- (3) 生徒間での話し合いや発表の場を設定することにより、言語活動を重視した授業展開を図る。

○ 具体的な展開例

(1) 復習と導入

第一次世界大戦中の大戦景気や、大戦後の国際協調について、基礎的な事項を確認する。

(2) 戦後恐慌・金融恐慌の政治・社会・外交への影響について

- ア それぞれの恐慌に対して、日本政府がどのように対応したのか説明する。
- イ 恐慌による経済の悪化が、国民生活や人々の思想に与える影響について、ペアで説明させる。
- ウ 日本政府が欧米と中国に対して、どのような外交姿勢をとったのかグループ毎に考察させる。

(3) 金解禁と世界恐慌

- ア 財政・外交が、浜口内閣の政策の両輪であったことを説明する。
- イ 金解禁のメリット・デメリットについてグループから発表させる。
- ウ 世界恐慌の経緯について、ペアに説明させる。

(4) 本時のまとめ

- ア 本時の学習内容について、ペアワークにより、生徒同士で授業内容を振り返らせる。
- イ 本時の取り組みについて自己評価を行い、本時の到達すべき目標に達していたか確認させる。
- ウ 次時の学習内容を予告し、教科書を通読してくることを指示する。